



座間市

# PRESS RELEASE

プレスリリース

令和5年10月20日

## 有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の地下水・表流水 調査結果および今後の対応

このことについて、別紙の通り情報提供します。

問い合わせ先 暮らし安全部 生活安全課 環境保全係

TEL 046 (252) 8214 FAX 046 (257) 7743



## 有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の地下水・表流水調査結果および今後の対応

令和 3 年度に神奈川県が実施した有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の調査にて、市内の地下水で、環境省が定める暫定目標値を超過する結果となったことを受け、市では令和 4 年度から地下水・表流水の調査を実施しています。

令和 5 年 9 月に地下水および表流水の調査を実施した結果は次のとおりです。

### 1 ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)およびペルフルオロオクタン酸(PFOA)

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）は、独特の性質（水や油をはじく、熱に強い、薬品に強い、光を吸収しないなど）を持ち、撥水剤、表面処理剤、乳化剤、消火剤、コーティング剤などに用いられてきた化学物質です。しかし、環境中で分解されにくく、生物への蓄積性などもあることから、現在、国内外において製造、使用などが規制されています。このことから、環境省はPFOSおよびPFOAを要監視項目に位置づけ、公共用水域および地下水における暫定目標値を定めました。

### 2 調査内容および結果（詳細は別紙参照）

#### (1)地下水

市内の地下水における有機フッ素化合物の分布状況を把握するため、令和 5 年 9 月 1 2 日（火）に市内 6 地点の地下水において調査を行った結果、1 地点で暫定目標値の超過がありました。

#### (2)排水路

平和橋（鳩川）下流流入排水路における有機フッ素化合物の分布状況を把握するため、令和 5 年 9 月 1 1 日（月）に 1 0 地点で調査を行った結果、5 地点で暫定目標値の超過がありました。

### 3 今後の対応

地下水の調査により、暫定目標値の超過が見られた地域においては飲用井戸の利用を控えるよう助言を行います。また、排水路については、暫定目標値の超過が見られた地点がありましたが、特定の点源に至る顕著な結果は見られませんでした。今後も引き続きモニタリングを行います。

(1) 令和5年度（令和5年9月12日採水）

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）地下水調査結果

採水地点	採水区分	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS・PFOAの 合計値 (ng/L)
栗原	井戸	15	8.2	23
小松原	井戸	16	4.2	20
広野台	井戸	12	8.3	20
座間	井戸	15	4.6	20
西栗原	井戸	48	6.4	54
東原	井戸	16	4.4	21

(2) 令和5年度（令和5年9月11日採水）

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）平和橋（鳩川）下流流入排水路調査結果

採水地点	採水区分	PFOS (ng/L)	PFOA (ng/L)	PFOS・PFOAの 合計値 (ng/L)
座間	排水路	38	7.3	46
座間	排水路	99	6.4	100
座間	排水路	120	5.9	130
座間	排水路	26	7.8	34
座間	排水路	96	5.6	100
座間	排水路	12	5.1	17
座間	排水路	81	7.2	88
座間	排水路	74	7.3	82
座間	排水路	27	5.9	33
座間	排水路	29	7.2	36

※上段に行くに従い、下流域になります。

※有効桁数2桁で処理しているため、合計値は必ずしも「PFOS」および「PFOA」の和と一致しません。

※暫定目標値はPFOSおよびPFOAの合計値として50ng/Lとされています。

※過去に実施した有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の調査結果については、市ホームページでお知らせしています。

<https://www.city.zama.kanagawa.jp/kurashi/kankyo/mizu/1006894.html>